

ジュニア賞

詐欺予行練習

嶋田 乃々 (高校生：京都府)

今年の4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、高校3年生で成人を迎えることになる。成人すると今までと変わることが多いが、その中でも特に変わることといえば1人で契約ができるということだろう。成人になりたての若者は、内容を理解しないまま安易に契約を結んでしまい、消費者トラブルに巻き込まれやすい傾向にあるのが現状である。そこを悪い大人は狙うわけなのだ。

そこで私が考えたゲームが、「詐欺予行練習」である。このゲームは、何の知識もない赤子同然の私たちプレイヤーと、悪質な契約を結ばそうとしてくる詐欺師が、1対1で対話をしながら、いかに騙されず契約を結ぶことができるかというゲームである。何の契約かは、CPがランダムで指定してくる「臨機応変モード」と、自分がこの契約の予行練習をしときたいなと思っているものを選ぶ「カスタムモード」の二つに分かれているため、自分で選択しゲームスタート。詐欺師の話には、3つの選択肢の中から選んで返答する形式となっており、選択肢を間違えると画面から警告表示と警告音が鳴り響くようになっている。そして数秒経てば正解の選択肢が表示される。間違えた選択肢を選べば警告されるため、その場で間違った返答をしていることに気づき改めることができる。しかし、警告が表示されるごとに%単位で減点されていき、最終的に自分は現実だと何%騙されていたのかわかるゲームとなっている。そしてこの結果は週間ランキングになっていて、TOP10に入った人は次の週でプレイヤーを騙しまくる詐欺師としてゲームができる。

ゲームで色々な契約を経験しておけば、少しでも消費者トラブルに巻き込まれずに、契約の知識を得たうえで契約を結べるようになることが狙いのこのゲーム。このゲームを通して、少しでもトラブルに巻き込まれないようになったらいいと思う。